

## ま え が き

今、時代は大きな変革の時にあり、グローバル化やボーダレス化が進展する中、経済の再生はもとより、国・地方を通じる各種の構造改革への取組み、また、景気・雇用情勢の低迷や少子・高齢化の進行、市町村合併、さらには環境問題の多様化や暮らしの安心・安全など様々な課題に直面しており、これらへの的確な対応が求められています。

また、これまで地方が念願してきた地方分権の実現については、ますますその流れが加速化してきており、地方税財政基盤を巡る“三位一体の改革”が、内容的には十分とはいえないものの、ようやく具体的に動き始めました。

こうした状況の中で、県政に対する県民の皆様の御期待に応え、「21世紀の山口県づくり」の木を大きく伸ばしていくためには、「自立・協働・循環」という県づくりの理念を、県民、市町村との共有のキーワードとし、お互いが連携を図りながら、住み良さ日本一の「元気県山口」の実現に向けて、取り組んでいかなければなりません。

大変厳しい経済財政環境にはありますが、「県民が主役となる県政」「市町村とともに歩む県政」の基本姿勢の下、県民の力、市町村の力、県の力を結集することで、本県の総合力を高めながら、今後、特に重点的に取り組むべき事業の「選択」と「集中」により、県勢の様々な分野や様々な地域で、「元気創造」に向けた新たな動きを創り出していかなければならないと考えています。

時代は今、山口県の百年の方向を決める極めて重要な時期にさしかかっており、何事にもチャレンジ精神を持って、一つひとつの課題に意欲的に取り組み、全国に誇れる、また全国から注目される「元気で存在感のある県づくり」の実現を期してまいりたい決意であります。

さて、「山口県の財政」は、県財政の実態と県の主要施策について、県民の皆様方のご理解をいただくため、県財政の状況を年2回公表しているものであります。

今回は、平成/6年度当初予算及び平成/5年度下期の財政状況並びに公営企業の業務の状況につきまして、その概要を報告いたしますので、県民の皆様方の深いご理解とより一層のご協力をお願い申し上げます。

平成/6年5月31日

山口県知事 二 井 関 成